

定員

■ 各研修会の定員は、20名です。

■ 定員に達しましたら、募集は終了させていただきます。

参加費用

■ 無料です。

■ 会場までの交通費および研修会中の宿泊費は、参加者の負担となります。

特記事項

■ 野外実習が含まれる研修会については、森林内で作業可能な服装（雨具を含む）をご準備ください。

■ 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修は前半、後半いずれかの参加でも構いませんが、前半、後半両研修会への参加が望ましいです。

■ 各研修会で実施される全科目を受講した参加者には、修了証を授与します。

■ 新型コロナウイルスの影響により、集合型研修の開催が困難となった場合、オンライン会議による講習、講義を行います。変更が生じた場合は、別途連絡いたします。

研修会開催日程

鳥獣被害対策コーディネーター育成研修（前半）

開催地	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
神奈川県 小田原市	10月19日（月） ～10月22日（木）	10月12日（月）	株式会社野生動物保護管理事務所 TEL：042-649-3609 FAX:042-649-1386 Email：kenshu@wmo.co.jp 【担当：田中】
鳥取県 鳥取市	11月9日（月） ～11月12日（木）	10月30日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】
熊本県 水俣市	11月17日（火） ～11月20日（金）	11月6日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】

鳥獣被害対策コーディネーター育成研修（後半）

開催地	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
埼玉県 さいたま市	12月23日（水） ～12月25日（金）	12月11日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】
愛知県 名古屋市	1月12日（火） ～1月14日（木）	12月25日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】
熊本県 熊本市	1月20日（水） ～1月22日（金）	1月8日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】
岡山県 岡山市	1月27日（水） ～1月29日（金）	1月15日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター 岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX:086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp 【担当：圓山・中村】

地域リーダー（森林）育成研修

開催地	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
神奈川県 開成町	10月13日（火） ～10月15日（木）	10月6日（火）	株式会社野生動物保護管理事務所 TEL：042-649-3609 FAX:042-649-1386 Email：kenshu@wmo.co.jp 【担当：森】
北海道 札幌市	11月4日（水） ～11月6日（金）	10月23日（金）	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所 TEL/FAX：011-726-3072 Email：kensyu@env.gr.jp 【担当：小林・早稲田】

各研修会を開催する会場等の詳細は、申込受付後お知らせいたします。
また、記載内容は変更の可能性がありますので、ウェブサイト（<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2020/index.html>）の最新情報をご確認ください。

申込方法

■ 所定の申込フォームに、必要事項をご記入の上、申し込みください。

■ 申込フォームは、株式会社野生鳥獣対策連携センターのホームページ（<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2020/index.html>）よりダウンロードできます。

■ 申込先は、研修開催地によって異なります。

新型コロナウイルスに対する対策

■ 以下に該当する方は研修に参加できません。

・ 研修前2週間以内に発熱等の症状がみられた方

・ 国、地域を問わず、海外からの帰国後2週間以内の方

・ 研修前2週間以内に大規模イベント（ライブハウス、コンサート等）に参加した方

■ 会場まで公共交通機関を利用される場合は、感染対策を十分に行うようお願いいたします。

■ 研修時は毎日検温を行い、体調不良を感じる方、37.5℃以上の発熱のある方は参加を控えていただきます。

農林水産省 令和2年度鳥獣被害対策基盤支援事業

鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修

開催案内

ニホンジカの被害発生状況に応じた、適切な対策を行い、造林や森林経営を行っていくための研修を行います。

参加費用 無料

全国9ヶ所で開催が予定されています。裏面の開催地をご覧の上、お申し込みください。
カリキュラムについては内面をご覧ください。



柵の点検実習

鳥獣被害対策コーディネーター育成研修

地域リーダー（森林）研修の内容に加え、事業発注者としてシカ対策の計画策定や事後評価をするための手法を研修します。
特に、予測が難しいシカの被害の動向や、防護柵の効果、捕獲の成果などについて、事前に入手できる情報から結果の見込みを立て、事業計画を検討する手法を解説します。また、結果の見込と実際の成果を比較することにより、実施した事業結果を検証し、次回に向けて改善する手法を研修します。

前半の研修では、野外実習も交えて必要な調査手法や防護手法、わなと銃の捕獲技術等に関する手順や特徴の理解を深めます。後半の研修では、シミュレーションツールを用い、コストや効率などを具体的に想定しながら対策方法を選択し、その結果を評価することで、森林防護とシカ捕獲事業の計画策定や、事業の成果を検証するための室内演習を行います。

主な対象者：森林総合監理士、森林管理局職員、林業普及指導員、森林施業プランナー、都道府県担当職員、市町村担当職員



シカの痕跡等の確認による生息状況調査実習

地域リーダー（森林）育成研修

ニホンジカ対策のために必要な、シカの被害状況や生息状況の現状把握のための調査手法や、防護の手法、わなによる捕獲の手法などの技術を中心に研修します。

野外実習で、防護や捕獲の手法や、必要な手順を実際に体験することで理解を深め、シカ被害対策事業の管理監督を適切に行えるようになることを目指します。

主な対象者：森林管理署職員、林業普及指導員、森林施業プランナー、市町村担当職員、森林組合職員、林業事業体職員等

主催 株式会社野生鳥獣対策連携センター
<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2020/index.html>／兵庫県丹波市青垣町佐治94番地-2
Tel.0795-78-9799、Fax.0795-78-9769

前半			
午前部（9：00-12：00）			
一日目	午後部（13：00-17：00）		
	ガイダンス	鳥獣対策の基本的な考え方	現状把握手法と目標設定・事業計画 業務管理と作業の記録
	趣旨説明、講師紹介、自己紹介など。	近年のシカによる森林被害の発生状況や傾向、森林育成や経営への影響、シカ被害対策の考え方を解説します。	シカの生息や被害状況を把握する手法と、被害管理の目標設定や事業計画立案の考え方を解説します。 アプリを用いた業務管理や事業進捗状況の情報共有の手法について説明します。
二日目	【野外実習】 生息状況・自然植生への被害調査		
	【野外実習】 被害確認・植生防護の 柵点検	【野外実習】 植生防護柵の設置	
	シカの生息や被害の現状を、広域であるいは狭域で把握するための手法として、植生衰退度調査の手法や、食痕履歴法、痕跡確認方法、センサーカメラ設置による方法などを紹介します。	植栽木における被害状況を確認します。また防護柵を点検する上でのポイントを解説します。	設置されている植生防護柵を見学しながら、柵資材や設置方法の種類とその特徴、それぞれの柵の設置や管理における注意点を解説します。また、実際に柵設置の実習を行います。
三日目	防護による鳥獣被害対策	銃器による捕獲手法	【野外実習】 捕獲野外実習
	植栽木を防護する手法を解説し、実習を振り返りながら、防護の考え方を整理します。	銃器による捕獲の特性や安全管理、流し猟、しのび猟、巻狩などの各手法について解説します。	銃による捕獲について、獲物の探索方法、待場選定、安全な射撃などについて現場で解説します。また、わな設置に有用となる、痕跡確認によるわな設置適否の判断方法を解説するとともに、林内にてくくりわなの設置方法を実習します。
四日目	わなによる捕獲手法	業務の管理	習熟度確認、 修了証授与
	箱わな・囲いわな、くくりわなによる捕獲手順や、安全管理における注意点を解説します。	野外業務における作業者の安全管理、事前訓練や調査における進行管理の方法等について解説します。	習熟度確認を実施後、修了証の授与を行います。

後半			
午前部（9：00-12：00）			
一日目	午後部（13：00-17：00）		
	ガイダンス	防護計画の立案と検証の手法	防護計画策定演習 (情報整理、予測)
	趣旨説明、講師紹介、自己紹介など。	目標林型の達成の可否や、必要な防護手段を検討するために必要な情報整理と、分析の手法を解説します。	シミュレーションツールを用いて、シカの生息密度や被害程度から植林木の成長、防護のコスト等を予測する演習をします。
二日目	防護計画策定演習 (計画立案、事業検証)		
	捕獲計画の立案と検証の手法	捕獲計画策定実習 (調査、計画立案)	
	1日目に実施したシミュレーションの結果をもとに、経営判断や計画立案、事業検証を行う演習をします。	効率的かつ計画的な捕獲事業を進めるために必要な、捕獲の適切な時期や場所、手法を選択するための情報整理や分析の手法について解説します。	シミュレーションツールを用いて、仮想地域での捕獲事業を計画します。捕獲を実施する前の事前調査計画の立案から、調査結果を受けての捕獲計画の立案まで、一連の作業について、シミュレーションツールを用いて実習を行います。
三日目	捕獲計画策定実習 (捕獲の実施と成果の検証)	習熟度確認、 修了証授与	
	捕獲計画に基づいて実施した捕獲の成果を検証し、次の捕獲事業を検討するシミュレーション実習を行います。不確定要素の多い捕獲事業の進め方について、シミュレーションを通して理解を深めます。	習熟度確認を実施後、修了証の授与を行います。	

計画策定演習
(グループディスカッション)

午前部（9：00-12：00）			
午後部（13：00-17：00）			
一日目	ガイダンス		
	鳥獣対策の基本的な考え方と現状把握の方法		
	趣旨説明、講師紹介、自己紹介など。	近年のシカによる森林被害の発生状況や傾向、森林育成や経営への影響、シカ被害対策の考え方を解説します。	植栽木を防護する手法を解説し、防護柵の種類や特徴、設置や管理における注意点など、防護の考え方を解説します。
二日目	【野外実習】 被害確認・防護柵の点検	【野外実習】 植生防護柵の設置	【野外実習】 現状把握のための野外実習
	植栽木における被害状況を確認します。また防護柵を点検する上でのポイントを解説します。	設置されている植生防護柵を見学しながら、柵資材や設置方法の種類とその特徴、それぞれの柵の設置や管理における注意点を解説します。また、実際に柵設置の実習を行います。	シカの生息や被害の現状を、広域であるいは狭域で把握するための手法として、植生衰退度調査の手法や、食痕履歴法、痕跡確認方法、センサーカメラ設置による方法などを紹介します。
三日目	わなによる捕獲のポイント		
	習熟度確認、 修了証授与		
	箱わな・囲いわな、くくりわなによる捕獲手順や、安全管理における注意点を解説します。	習熟度確認を実施後、修了証の授与を行います。	



くくりわな設置実習



植生防護柵の設置実習



模擬銃を使用した銃捕獲講習

- 枠の幅は、所要時間の目安となります。
- 野外実習には移動が伴います。移動手段は研修運営機関が準備します。
- 開催地により、研修内容の順序、内容及び所要時間が異なることがあります。
- 詳細と最新情報は、ウェブサイト（ <https://www.cho-jyu.jp/kensyu2020/index.html> ）に記載しています。

研修会カリキュラムや事業全体に関する問い合わせ

株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 担当者 圓山・中村

Tel：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2020@cho-jyu.jp